

クラス番号	601	担当教員名	堀場 純矢
テーマ	社会的養護からみた子どもの貧困と職員の働き方		
著書・論文 研究課題等	研究課題 ：児童養護施設職員の働き方、児童養護施設でくらす子どもと親の生活問題 主著 ：『日本の児童養護と養育研半世紀の歩み』(福村出版)、『階層性からみた現代日本の児童養護問題』(明石書店)、『子どもの社会的養護内容』(福村出版)ほか		

ゼミナール概要

キーワード：社会的養護、児童養護施設、子どもの貧困・虐待、職員の働き方、子どもと親への支援

1.目的・内容

近年、社会的養護(乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設、里親など)の領域では、施設の小規模化・地域分散化や里親・ファミリーホームなどの家庭的養護が政策的に推進されています。また近年、児童養護施設等の職員配置基準が少しずつ改善されていますが、小規模化のなかで、子どもと職員が密接にかかわる家庭的な生活環境が築ける一方、施設内でユニットごとに少人数の職員が分散して勤務することにより、子どもとのかかわりや職員同士の関係、働き方の質が大きく変化しています。そこで、ゼミでは下記の点を中心に考えていきます。

①子どもと親が児童養護問題(貧困・虐待など)を抱えるに至った背景に何があるのか？

②子どもと親をどのように支援していくか？

③施設職員が結婚・出産後も働き続けるためには何が必要か？

④社会的養護で起きている諸問題や、制度を改善するにはどうしたらいいか？

以上のことを学ぶため、ゼミでグループ学習や個別報告・討議を行うとともに、東海地方の乳児院・児童心理治療施設・児童養護施設の見学(全員)、および、全国各地の先駆的な実践をしている施設の見学・調査(京都、福井、東京など。希望者のみ)を行っています。また、全国児童養護問題研究会全国大会、愛知・岐阜支部学習会などにもできる限り参加し、施設職員や施設生活経験者との学習・交流などをおして、社会的養護について体験的に理解を深めます。その他、ゼミ生が主体となって交流企画(バーベキューなど)も行っています。

2.授業計画

3 年:①関心のあるテーマごとにグループ作業・報告・討議、希望先種別ごとの施設見学、②日本福祉大学社会福祉学会、または全国児童養護問題研究会全国大会への参加(6 月末の土日、2018 年は東京、希望者のみ)、③

夏休みの課題・報告、④児童福祉・社会的養護に関する論文等をもとにレジュメの作成・報告・討議、⑥卒論に向けての個別発表・意見交換、卒論の体裁・書き方

4 年:①卒論の個別発表、②卒論の執筆・添削、国試対策、③卒論完成・提出、卒論報告会

※このゼミを希望する学生はエントリーシートに、①関心を持っているテーマと概要、②卒業後に考えている職業(現段階で)についても記載して下さい。また、このゼミを希望する学生は、大学図書館にある『日本の児童養護と養育研半世紀の歩み』(福村出版)、『子どもと福祉』vol.9(明石書店)のいずれかを事前に読んでおいてください。

担当教員からのメッセージ



このゼミは、①積極的に仲間と議論し、主体的に学ぶ姿勢のある学生、②将来、乳児院・児童養護施設・児童心理治療施設・母子生活支援施設・障害児入所施設・保育所などの児童福祉施設職員、司法・福祉系の公務員として働きたいと考えている学生を歓迎します。メリハリのある、楽しいゼミにしましょう。